

平成23年度 教養教育科目 / 専門教育科目 授業日程計画

前 期							後 期											
月	日	月	火	水	木	金	土	備 考	月	日	月	火	水	木	金	土	備 考	
4月						1	2	1日～7日 春季休業 1日 新入生オリエンテーション 2日 TOEIC-IPテスト 3日 履修相談会 8日 入学式、新入生オリエンテーション 11日 授業開始 29日 昭和の日	10月							1	10日 体育の日 22日 開学記念日	
	3	4	5	6	7	8	9			2	3	4	5	6	7	8		
	10	11	12	13	14	15	16			9	10	11	12	13	14	15		
	17	18	19	20	21	22	23			16	17	18	19	20	21	22		
	24	25	26	27	28	29	30			23	24	25	26	27	28	29		
5月								3日 憲法記念日 4日 みどりの日 5日 こどもの日	11月				注1	[2]	3	4	5	注 1日 金曜日の授業を行う。 3日 文化の日 【3日～5日 大学祭】 2日 午前:補講日 2日 午後:臨時休業(大学祭準備) 4日 全日:臨時休業 6日 大学祭後片付け 注 22日 水曜日の授業を行う。 23日 勤労感謝の日
	1	2	3	4	5	6	7			6	7	8	9	10	11	12		
	8	9	10	11	12	13	14			13	14	15	16	17	18	19		
	15	16	17	18	19	20	21			20	21	注22	23	24	25	26		
	22	23	24	25	26	27	28			27	28	29	30					
6月				1	2	3	4		12月					1	2	3	23日 天皇誕生日 25日～1月7日 冬季休業	
	5	6	7	8	9	10	11			4	5	6	7	8	9	10		
	12	13	14	15	16	17	18			11	12	13	14	15	16	17		
	19	20	21	22	23	24	25			18	19	20	21	22	23	24		
	26	27	28	29	30					25	26	27	28	29	30	31		
7月						1	2	18日 海の日	1月	1	2	3	4	5	注6	7	1日 元日 注 6日 冬季休業日であるが授業を行う。 9日 成人の日 13日 センター試験実施に伴う臨時休講 14日・15日 大学入試センター試験	
	3	4	5	6	7	8	9			8	9	10	11	12	13	14		
	10	11	12	13	14	15	16			15	16	17	18	19	20	21		
	17	18	19	20	21	22	23			22	23	24	25	26	27	28		
	24	25	26	27	28	29	30			29	30	31						
8月		注1	注2	注3	注4	5	6	1日～9月30日 夏季休業 注 1日～4日及び8日は夏季休業日であるが授業を行う。 5日～6日 オープンキャンパス (学部によっては前後を含むことがある。) 注 8日 金曜日の授業を行う。 9日～11日 補講日 12日～16日 夏季一斉休業(予定)	2月				1	2	3	4	11日 建国記念の日 15日～17日 補講日 15日～3月31日 臨時休講 25日・26日 一般入試(前期日程)	
	7	注8	[9]	[10]	[11]	12	13			5	6	7	8	9	10	11		
	14	15	16	17	18	19	20			12	13	14	[15]	[16]	[17]	18		
	21	22	23	24	25	26	27			19	20	21	22	23	24	25		
	28	29	30	31						26	27	28	29					
9月					1	2	3	19日 敬老の日 23日 秋分の日	3月					1	2	3	臨時休講 12日 一般入試(後期日程) 20日 春分の日 23日 学位記授与式	
	4	5	6	7	8	9	10			4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17			11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24			18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31		
前期計	16	16	16	16	16	授業週数(含試験)			後期計	16	16	16	16	16	授業週数(含試験)			

休業日及び臨時休講を示す。
 他の曜日の授業を行う日又は休業日であるが授業を行う日を示す。

Ⅱ 履修等について

1 単位修得要領

単位修得に関しては各自十分注意し余裕のある単位修得に努められたい。もし不注意により卒業できない等のことがある場合の責任は学生自身が負わなければならない。したがって単位修得の責任は自らにあることを自覚し単位を修得されたい。

1. 履修手続きの方法

(1) 履修登録

学生は、学年の始めに示される授業時間割表及びシラバス等により立てた履修計画に基づき、各期(前期、後期)に履修しようとするすべての授業科目を履修登録しなければならない。履修登録は、指定された期間中に学内のコンピュータ端末を利用して各自行うこととする(履修登録のない科目の単位修得は認められない)。履修登録後は、登録された履修科目が各自の計画どおり登録されているか必ず確認すること。

なお、教養教育科目の1年間に履修できる単位数の上限は30単位である。(TOEIC-IP等により認定された単位数は、これに含まない。)

(2) 履修科目の変更及び中途よりの履修

履修登録後は履修科目の変更及び中途よりの履修は原則として認めない。

但し、登録内容の誤りや上限単位数を超過などで、履修科目の追加又は変更を希望する場合は、指定された期間中に限り学内のコンピュータ端末を利用して変更等することができる。

(3) 履修科目の取消

定められた期間に教務学生担当へ申し出て、「履修登録科目の取り消し願」を記入のうえ提出すること。期間等詳細については、掲示にて通知する。

2. 単位認定及び成績評価

授業科目の単位認定は、試験、レポート及び平素の成績を考慮して担当教員が判定する。

授業は、講義、演習、実験または実習のいずれかの方法により又はこれらの併用により行われる。授業科目は、1単位当たり45時間の学修を必要とする内容をもって構成されることを標準とし、授業の方法による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数が定められている。

授業の種類・方法		授業による学修時間	授業以外の学修時間 (予習・復習等)
教養教育科目	講義	15時間	30時間
	演習	15～30時間	30～15時間
	実験	45時間	0時間
	実習	30時間	15時間
専門教育科目	講義	15時間	30時間
	演習	15～30時間	30～15時間
	実験	45時間	0時間
	実習	30～45時間	15～0時間

	講義及び演習の併用	15時間	30時間
	卒業論文実習等、指導教員による研究指導に当たる授業	各指導教員の指導に従うものとする。	

通常、講義科目2単位を取得するためには、1回2時間（実質90分間）の授業に15回出席（30時間）し、当該授業に関する自学・自習・レポート作成等を行い、さらに試験等に合格することが必要である。

また、成績評価は、本学部の定める成績評価基準に基づき行い、下表のとおり表記する。なお、履修登録をしたにもかかわらず、試験を受けていない等で成績評価の資料を欠く場合については、F（不可：0点）とする。

成績の評語及びグレード・ポイント（GP）

H19 以前入学者	H20 以降入学者		評点	基準等
評語	評語	GP		
優	A+	4	100～90点	合格（単位を授与する）
	A	3	89～80点	
良	B	2	79～70点	
可	C	1	69～60点	
不可	F	0	59点以下	不合格（単位を授与しない）
	W	対象外	付さない	履修登録後、履修取消期間等に取消を行った場合
認定	認定	対象外	付さない	既修得単位による単位認定等を受けた場合
修了	修了	対象外	付さない	授業の特殊性に鑑み、評点により評価しがたい場合、又は一定の到達度をもって評価し単位をする場合
	未修得	対象外	付さない	修了の評語をもって合格の評価とする授業科目で、不合格（単位を授与しない。）とする場合

おいて、平成20年度以降入学者については、次の算式によりGPAを算出し、修得済み単位及びその成績評価と併せて通知する。

$$GPA = \frac{\text{（履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目のGP）の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の総和}}$$

3. 成績評価基準

岡山大学学則第42条の2の規程に基づき、本学部の成績評価基準について、次のとおり定める。

- 1 教育目標に対する学習者の到達度を見るため成績評価が必要であり、その目標と評価方法を個々の授業毎に講義要覧（シラバス）に明記する。
- 2 授業科目の単位認定は、試験、レポート、及び平素の成績を考慮して担当教員が判定する。

3 授業形態による評価方法の指針は、次のとおりとする。

講義	中間テスト、期末テスト又は小テストを適宜行い、それらの結果、出欠状況、講義中の発言、途中で課せられるレポート等を総合して評価する。
実習（薬学部内）	テスト、レポート、実習態度（実習書に記載の注意点の遵守など）、出欠状況等を総合して評価する。
実習（病院・保険薬局）	レポート、実習態度（実習書に記載の注意点の遵守など）、出欠状況等を総合して評価する。

4 成績評価に関する学生の質問及び疑問等には、適切に対応するものとする。

4. 補 講

担当教員が十分な講義回数を確保できないと判断した場合は、指定された以外の曜日・時限(休業中・水曜日午後等)に補講を行うことがある。

5. 試 験

(1) 受験心得

受験にあたっては、次の各事項に留意してください。

- ① 受験する学生は特別の指示がない限り、試験開始時刻の5分前までに所定の教室に入室を完了すること。
- ② 監督者が指定した座席において受験すること。
- ③ 受験中は必ず学生証を机の上に置くこと。
ただし、学生証を紛失又は忘れた場合は、監督者に申し出て、その指示に従うこと。
- ④ 受験中、机の上に置くことができるのは、学生証、筆記用具及びその他特に許可されたものに限る。それ以外の携行品はカバン等に入れて、座席の下に置くこと。また、机の棚板（物入れ）には何も置かないこと。
- ⑤ 携帯電話や音の出る機器は、必ず電源を切っておくこと。
- ⑥ 解答用紙には、所属学部名、入学年、番号及び氏名等の必要事項を必ず万年筆又はボールペンで記入すること。
- ⑦ 試験開始後20分を経過するまでは退室できない。
- ⑧ 試験開始後20分を経過した場合は入室できない。
- ⑨ 答案用紙は、特に指定がない場合、教卓上に提出するか、又は監督者に直接手渡すこと。自己の机の上に置いて退出すると当該授業科目の単位は認定しない。
- ⑩ 受験にあたっては、厳正な態度で臨み、誤解を招くような態度や不正行為は厳に慎むこと。

なお、監督者の指示に従わない者、及び不正行為があると認められた者に対しては、学則第58条（大学院学則第49条）により厳重な懲戒処分を行う。

また、不正行為を行った場合は、当該行為が行われた時点において既に単位が認定されている授業科目を除いて、当該学期に開講する全ての授業科目（通年で開講する授業科目を含む。）の単位は認定しない。

(2) 追試験について

疾病その他やむを得ない事故により受験の延期を希望する者は、予め所定の書式により受験延期願を提出し、その理由が認められた場合に限り追試験を受験できる。その場合は改めて追試験受験願を提出すること。

なお、緊急事態により事前に願書が提出できない場合は、事態の回復後速やかにその旨教務学生担当（教養教育科目については、学務企画課学務企画グループ）に申し出て指示を受けること。

6. 成績の通知について

各期の成績は、学期末に各自学務システムで確認すること。日時等詳細は、別途掲示する。

7. 副専攻コースについて

岡山大学では、平成17年度以降の入学生を対象に「副専攻コース*」を開設しているが、薬学部学生は4セメスター以降の日程が非常に過密なため、副専攻コースの履修を認めない。

*「副専攻コース」とは、各学部が編成する教育課程のほか、学生が所属する学部及び学科又は課程の専攻に係る分野において学習した知識をさらに広い視野のもとで有効に活かせることのできる能力を養うための教育課程を指す。

本学では、1学年を「前期」と「後期」に2分割する2学期制をとっており、多くの授業は1科目について15回（期末試験を含めると16回）行うことを基本としていて、学期ごとに完結するセメスター制を採用し、4年（8セメスター）ないし6年（12セメスター）にわたる一貫教育を行っている。

1 年		2 年		3 年		4 年	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター

5 年		6 年	
前期	後期	前期	後期
9セメスター	10セメスター	11セメスター	12セメスター

8. 外部検定試験等による単位認定について

次の基準により単位を認定します。

単位を満たした学生で、単位認定希望者は薬学部教務学生担当へ申し出てください。

(平成20年度以降入学者適用)

科 目	認 定 の 対 象 と す る 外 部 検 定 試 験 等	合 格 基 準	認 定 す る 授 業 科 目 ・ 単 位 数
英 語	【英語関係Ⅰ】 Test of English for International Communication (TOEIC, IPを含む)	470～585点 (OT3)	別表の③から⑥の中より選択 2単位
		590～725点 (OT2)	別表の③から⑥の中より選択 4単位
	実用英語技能検定 (英検) 国際連合公用語・英語検定試験 (国連英検) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・PBT, ITPを含む) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・CBT) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・iBT)	準1級	} 別表の①から⑥の中より選択 4単位
		B級	
500点以上			
【英語関係Ⅱ】 Test of English for International Communication (TOEIC, IPを含む)	730点以上 (OT1)	英語(ネイティブ) 2単位 及び 別表の③から⑥の中より選択 4単位	
	実用英語技能検定 (英検) 国際連合公用語・英語検定試験 (国連英検) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・PBT, ITPを含む) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・CBT) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・iBT)	1級	} 別表の①から⑥の中より選択 8単位
A級			
550点以上			
ド イ ツ 語	ドイツ語技能検定試験 (独検)	5級	ドイツ語初級Ⅰ(文法)又は ドイツ語初級Ⅰ(読本) 2単位
		4級	ドイツ語初級Ⅰ(文法) ドイツ語初級Ⅰ(読本) ドイツ語初級Ⅱ(文法) ドイツ語初級Ⅱ(読本) ドイツ語初級Ⅰ(総合) } 4単位
		3級以上	ドイツ語初級Ⅰ(文法) ドイツ語初級Ⅰ(読本) ドイツ語初級Ⅱ(文法) ドイツ語初級Ⅱ(読本) ドイツ語初級Ⅰ(総合) ドイツ語初級Ⅱ(総合) ドイツ語中級 } 8単位
フ ラ ン ス 語	実用フランス語技能検定試験 (仏検)	5級	フランス語初級Ⅰ(文法)又は フランス語初級Ⅰ(読本) 2単位
		4級	フランス語初級Ⅰ(文法) フランス語初級Ⅰ(読本) フランス語初級Ⅱ(文法) フランス語初級Ⅱ(読本) フランス語初級Ⅰ(総合) } 4単位
		3級以上	フランス語初級Ⅰ(文法) フランス語初級Ⅰ(読本) フランス語初級Ⅱ(文法) フランス語初級Ⅱ(読本) フランス語初級Ⅰ(総合) フランス語初級Ⅱ(総合) フランス語中級 } 8単位

科 目	認 定 の 対 象 と す る 外 部 検 定 試 験 等	合 格 基 準	認 定 す る 授 業 科 目 ・ 単 位 数
中 国 語	漢語水平考試 (HSK) (筆記試験のみ)	1 級	中国語初級 I (文法) 又は 中国語初級 I (読本) 2 単位
		2 級	中国語初級 I (文法) 中国語初級 I (読本) 中国語初級 II (文法) 中国語初級 II (読本) } 4 単位
		3 級以上	中国語初級 I (文法) 中国語初級 I (読本) 中国語初級 II (文法) 中国語初級 II (読本) 中国語中級 } 8 単位
韓 国 語	韓国語能力試験	1 級	韓国語初級 I (文法) 韓国語初級 I (読本) 韓国語初級 II (文法) 韓国語初級 II (読本) 韓国語初級 I (総合) } 4 単位
		2 級以上	韓国語初級 I (文法) 韓国語初級 I (読本) 韓国語初級 II (文法) 韓国語初級 II (読本) 韓国語初級 I (総合) 韓国語初級 II (総合) 韓国語中級 } 8 単位
スペイン語	スペイン語技能検定	6 級	スペイン語初級 I (文法) 又は スペイン語初級 I (読本) 2 単位
		5 級	スペイン語初級 I (文法) スペイン語初級 I (読本) スペイン語初級 II (文法) スペイン語初級 II (読本) } 4 単位
		4 級以上	スペイン語初級 I (文法) スペイン語初級 I (読本) スペイン語初級 II (文法) スペイン語初級 II (読本) スペイン語中級 } 8 単位
イタリア語	実用イタリア語検定	5 級	イタリア語初級 I (文法) 又は イタリア語初級 I (読本) 2 単位
		4 級	イタリア語初級 I (文法) イタリア語初級 I (読本) イタリア語初級 II (文法) イタリア語初級 II (読本) } 4 単位
		3 級以上	イタリア語初級 I (文法) イタリア語初級 I (読本) イタリア語初級 II (文法) イタリア語初級 II (読本) イタリア語中級 } 8 単位

- 備考 1 成績の取り扱いは「認定」とする。
2 外部検定試験等による単位認定は、一外国語につき 8 単位を限度とする。
3 英語に関しては、【英語関係Ⅰ】と【英語関係Ⅱ】は重複して単位認定の対象とする。
4 外部検定試験等による単位認定は、同一科目名の繰り返し履修が可能な授業科目を除いて、一つの授業科目について 1 回限りとする。

別表（平成20年度以降入学者適用）

項番	授業科目名	備考
①	経済実用英語 英語（工学部）	<ul style="list-style-type: none"> ・経済学部についてはOT1, OT2及びOT3（470点以上）の認定対象科目に含める ・工学部についてはOT1（730点以上）の認定対象科目に含める
②	英語（ネイティブ）	<ul style="list-style-type: none"> ・薬学部についてはOT2（590点～725点）の認定対象科目に含める ・工学部についてはOT2（590点～725点）の認定対象科目に含める
③	英語（オラコン）	OT1 OT2 OT3
④	英語（作文・文法）	
⑤	英語（読解）	
⑥	英語（検定）	

2 各学科のカリキュラム

【薬学科】

1. 進級要件

薬学科では、2年次から3年次、3年次から4年次及び4年次から5年次への進級について進級単位を定めている。進級単位を満たしていないと「留年」となるので、注意すること。ただし、履修要件を定めていない科目については、留年しなかった場合の該当年次の開講科目を履修することができる。

第3年次への進級（基礎薬学系実習Ⅰ～Ⅲ，衛生薬学系実習，医療薬学系実習Ⅰ～Ⅲ 履修要件）

2年次末までに、教養教育科目 26 単位以上，専門基礎科目 8 単位以上，専門科目 30 単位（選択科目Ⅰ 30 単位）以上，計 64 単位以上を修得した者とする。

第4年次への進級（実務実習事前教育1～5 履修要件）

3年次末までに、教養教育科目所定の 30 単位以上，専門基礎科目 10 単位以上，専門科目 64 単位（必修科目 9 単位，選択科目Ⅰ 50 単位，選択科目Ⅱ 5 単位）以上，計 104 単位以上を修得した者とする。

第5年次への進級（卒業論文実習・病院実務実習・薬局実務実習 履修要件）

4年次末までに、教養教育科目所定の 30 単位以上，専門基礎科目 10 単位以上，専門科目 112 単位（必修科目 17 単位，選択科目Ⅰ 78 単位，選択科目Ⅱ 17 単位）以上，計 152 単位以上を修得した者とする。

2. 修学指導並びに退学勧告について

病気その他やむを得ない事情が無いにもかかわらず、入学後、各年次終了時の全修得単位数が、下表に示す基準に満たない者については、学力・学修態度の改善の為、指導教員による修学指導を行う。

上記指導にもかかわらず、入学後7年経過（休学期間を除く）しても、卒業論文実習の履修資格を得られる見込みのない者については、退学を勧告する。

（平成 18 年度以降入学者の年次別修得単位基準）

年次	修得単位
1年次	30 単位以上
2年次	上記 1 に示す薬学科第 3 年次進級要件単位数
3年次	上記 1 に示す薬学科第 4 年次進級要件単位数
4年次	上記 1 に示す薬学科第 5 年次進級要件単位数

3. 卒業要件

科目区分			単位数	
教養教育科目			30	
専門教育科目	専門基礎科目		10	167
	専門科目	必修	49	
		選択Ⅰ	82	
		選択Ⅱ	26	
卒業要件単位			197	

4. 卒業認定に必要な教養教育科目単位数

(平成23年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位	
		必修	選択必修			
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2	
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちから3つ以上を選択し、それぞれ1授業科目2単位以上を履修		
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目				
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目				
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目				
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目				
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2		
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学 スポーツ実習(A,B,C,D,E,F)		2単位まで		
	情報科学	情報処理入門(情報機器の操作を含む)		2単位履修することが望ましい		
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)	4	2	英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)のうちから選択	
		英語(ネイティブ)	2			
	ドイツ語	英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)				
		上級英語				
	フランス語	英語特別演習1				
		英語特別演習2				
	中国語	ドイツ語初級		4	授業科目群から一種類を選択	
		ドイツ語中級				
	韓国語	フランス語初級				
		フランス語中級				
	ロシア語	中国語初級				
		中国語中級				
	スペイン語	韓国語初級				
韓国語中級						
イタリア語	ロシア語初級					
	ロシア語中級					
日本語	スペイン語初級					
	スペイン語中級					
	イタリア語初級					
	イタリア語中級					
	日本語(A, B, C, D)					
				留学生用 10単位まで		
				計	30	

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成20年度～平成22年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位
		必修	選択必修		
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちから3つ以上を選択し、それぞれ1授業科目2単位以上を履修	
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目			
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目			
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目			
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目			
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2	
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学 スポーツ実習(A,B,C,D,E,F)		2単位まで	
	情報科学	情報処理入門		2単位履修することが望ましい	
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)	4	英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)のうち から選択	28
		英語(ネイティブ)	2		
		英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)	2		
		上級英語			
		英語特別演習1 英語特別演習2			
	ドイツ語	ドイツ語初級	4	授業科目群から 一種類を選択	
		ドイツ語中級			
	フランス語	フランス語初級			
		フランス語中級			
	中国語	中国語初級			
		中国語中級			
	韓国語	韓国語初級			
		韓国語中級			
	ロシア語	ロシア語初級			
		ロシア語中級			
	スペイン語	スペイン語初級			
スペイン語中級					
イタリア語	イタリア語初級				
	イタリア語中級				
日本語	日本語(A, B, C, D)				留学生用 10単位まで
計					30

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成19年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位		
		必修	選択必修				
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2		
主 題 科 目	学問の世界	「学問の世界」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちから3つ以上を選択し、それぞれ1授業科目2単位以上を履修			
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目					
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目					
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目					
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目					
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2			
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学 スポーツ実習(A,B,C,D,E,F)		2単位まで			
	情報科学	情報処理入門		2単位履修することが望ましい			
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)	4	2	英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)のうち から選択	28	
		英語(ネイティブ)	2				
	英語	英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)					
		上級英語					
		英語特別演習1					
		英語特別演習2					
		ドイツ語	ドイツ語初級 ドイツ語中級				
	フランス語	フランス語初級 フランス語中級					
		中国語	中国語初級 中国語中級				
	韓国語	韓国語初級 韓国語中級					
		ロシア語	ロシア語初級 ロシア語中級				
	スペイン語	スペイン語初級 スペイン語中級					
		イタリア語	イタリア語初級 イタリア語中級				
	日本語		日本語(A, B, C, D)				留学生用 10単位まで
	計						30

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成18年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位	
		必修	選択必修			
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2	
主 題 科 目	学問の世界	「学問の世界」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちから3つ以上を選択し、それぞれ1授業科目2単位以上を履修		
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目				
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目				
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目				
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目				
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2		
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学 スポーツ実習(A,B,C)		2単位まで		
	情報科学	情報処理入門		2単位履修することが望ましい		
外 国 語 科 目	英 語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)		4	28	
		英語(ネイティブ)		2		
	英 語	英語(オラコン), 英語(読解:社会), 英語(読解:自然), 英語(検定)		2		英語(オラコン), 英語(読解:社会), 英語(読解:自然), 英語(検定)のうち から選択
		上級英語				
	ド イ ツ 語	ドイツ語初級		4		授業科目群から 一種類を選択
		ドイツ語中級				
	フ ラ ン ス 語	フランス語初級				
		フランス語中級				
	中 国 語	中国語初級				
		中国語中級				
	朝 鮮 語	朝鮮語初級				
		朝鮮語中級				
	ロ シ ア 語	ロシア語初級				
		ロシア語中級				
ス ペ イ ン 語	スペイン語初級					
	スペイン語中級					
イ タ リ ア 語	イタリア語初級					
	イタリア語中級					
日 本 語	日本語(A, B, C, D)			留学生用 10単位まで		
計					30	

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

5. 平成23年度 開講科目(専門教育科目)

I 専門基礎科目

授 業 科 目	教 員	単 位		期 別	配 当 年 次	備 考
		必 修	選 択			
物理化学	井上, 勝		2	前期	1	
有機化学 I	竹内		2	前期	1	
生物化学 I	森山, 根岸, 有元		2	前期	1	
生理学	上原		2	後期	1	
生物化学 II	岡本, 表		2	後期	1	
生物化学 III	森山, 表		2	前期	2	
生物統計学	有元, 黒田		2	前期	2	
専門基礎科目卒業要件単位			10			

II 専門科目

授 業 科 目	教 員	単 位			期 別	配 当 年 次	備 考
		必 修	選 択 I	選 択 II			
無機薬化学	永松		1		前期	1	
薬用植物学	波多野, 谷口			2	前期	1	
薬品物理化学 I	勝		2		後期	1	
有機化学 II	宮地 (弘)		2		後期	1	
生薬学 I	波多野, 谷口		2		後期	1	
微生物学	黒田, 小川		2		後期	1	
医療薬学入門	北村, 小山, 他各教員			1	通年	1	
薬品物理化学 II	勝		2		前期	2	
薬品分析学 I	榎本, 御船		2		前期	2	
有機化学 III	竹内, 宮地 (弘)		2		前期	2	
生薬学 II	波多野, 谷口		2		前期	2	
生物化学 IV	岡本, 有元, 高橋, 中尾		2		前期	2	
薬剤学	大河原		2		前期	2	
薬効解析学 I	上原		2		前期	2	
感染症治療学	黒田, 小川		2		前期	2	
人体解剖学	大塚 (愛), 田口, 西田, 百田		2		前期	2	
放射薬品学・放射線概論	三好, 中尾, 大塚 (正), 宮地 (孝)			2	前期	2	
生物物理化学	井上		2		後期	2	
薬品分析学 II	榎本, 岩藤, 御船		2		後期	2	
生物化学 V	中尾		2		後期	2	
生体防御機能学 I	田中		2		後期	2	
医薬品構造解析学	岩藤		1		後期	2	
製剤学	佐々木		2		後期	2	
薬効解析学 II	上原		2		後期	2	
衛生薬学 I	埴岡		2		後期	2	
有機反応化学	加来田		1		後期	2	
漢方処方学	伊東		1		後期	2	
コンピュータ化学	加来田			2	後期	2	
癌の生物学	有元, 根岸			2	後期	2	

授業科目	教員	単位			期別	配当年次	備考
		必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ			
病理学	荻野			2	後期	2・3	隔年開講：平成23年度～2・3年合同開講
薬品製造工学	武藤			2	後期	2・3	隔年開講：平成23年度～未開講
内分泌化学	中尾，景山，小倉，杉本			2	後期	3	
生体防御機能学Ⅱ	田中		1		前期	3	
生物薬剤学	檜垣		2		前期	3	
薬事法規	合葉		1		後期	3	
薬事行政	御船，岩藤			1	後期	3	
薬効解析学Ⅲ	杉本		2		後期	3	
医薬化学Ⅰ	加来田，宮地（弘），西岡		2		前期	3	
衛生薬学Ⅱ	三好		2		前期	3	
衛生薬学Ⅲ	成松		2		前期	3	
医薬品開発学	合葉			1	前期	3	
薬品分析学Ⅲ	榎本，御船			2	前期	3	
複素環化学	永松			2	前期	3	
機能性天然素材学	伊東			2	前期	3	
衛生薬学Ⅳ	三好		2		後期	3	
ゲノム創薬学	中尾			1	前期	3	
医薬化学Ⅱ	宮地（弘），加来田			2	後期	3	
バイオ技術演習	有元			1	後期	3	
国際医療保健学	岡本，高橋 他			2	後期	3	
毒性学	成松			1	後期	3	
基礎薬学系実習Ⅰ	榎本，御船，岩藤，井上，勝	1			前・集中	3	
基礎薬学系実習Ⅱ	宮地（弘），永松，竹内，加来田，西岡，伊東，谷口	2			前・集中	3	
基礎薬学系実習Ⅲ	表，大塚（正）	1			前・集中	3	
医療薬学系実習Ⅰ	田中，合田	1			前・集中	3	
医療薬学系実習Ⅱ	杉本	1			前・集中	3	
衛生薬学系実習	中尾，埴岡，根岸，有元，黒田，高橋，小川	2			後・集中	3	
医療薬学系実習Ⅲ	佐々木，檜垣，大河原，金，佐藤，高山，黒崎，合葉，高取	1			後・集中	3	
薬物治療学Ⅰ	川崎		2		前期	4	
医薬品情報学	金，佐藤		2		前期	4	
臨床医薬品治療学Ⅰ	千堂，松永，河崎		2		前期	4	
細胞療法・診断学	合田		2		前期	4	
調剤学	北村，名倉，小山		2		前期	4	
コミュニティファーマシー	合葉（コーディネーター）		1		前期	4	
薬物動態学	檜垣		2		前期	4	
臨床病態学Ⅰ	白井，他		2		前期	4	
総合薬学演習Ⅰ	合葉，他			1	後・集中	4	
有機化学演習Ⅰ	佐々木			1	後期	4	
実務実習事前教育1	北村，他	1			後・集中	4	
実務実習事前教育2	小山，他	2			後・集中	4	
実務実習事前教育3	名倉，他	2			後・集中	4	

授 業 科 目	教 員	単 位			期別	配当年次	備 考
		必修	選択 I	選択 II			
実務実習事前教育 4	名倉, 他	2			後・集中	4	
実務実習事前教育 5	北村, 他	1			後・集中	4	
薬物治療学 II	高山		2		前期	4	
病院薬学	松永		2		前期	4	
臨床医薬品治療学 II	黒崎		2		前期	4	
臨床薬学	川崎, 黒崎, 高山, 他		2		前期	4	
診断治療学	小倉, 大西		2		後期	4	
臨床薬物動態学	合葉		2		前期	4	
臨床病態学 II	草地, 他		2		前期	4	
総合薬学演習 II	合葉, 他			1	後・集中	4	
病院実務実習	黒崎 (コーディネーター)	1 0			通年	5	
薬局実務実習	黒崎 (コーディネーター)	1 0			通年	5	
臨床薬学演習 I	名倉 (コーディネーター)			1	通年	5・6	
臨床薬学演習 II	名倉 (コーディネーター)			1	通年	5・6	
臨床薬学演習 III	黒崎 (コーディネーター)			1	通年	5・6	
臨床薬学演習 IV	黒崎 (コーディネーター)			1	通年	5・6	
卒業論文実習 (卒業制作物を含む)	各教員	1 2			通年	5・6	
総合薬学演習 A	竹内			2	後・集中	6	
有機化学演習 II	竹内			1	後・集中	6	
総合薬学演習 B	竹内			2	後・集中	6	
専門科目卒業要件単位		4 9	8 2	2 6			

III 専門科目 (卒業要件外科目)

授 業 科 目	教 員	単位	期別	配当年次	備 考
薬学セミナー I	黒田, 他各教員	1	通年	1	
SGD入門	檜垣, 名倉, 埴岡, 杉本	1	前期	1	
基礎遺伝学	根岸	2	後期	1	
分子構造化学入門	勝	1	後期	1	
薬学セミナー II	黒田, 他各教員	1	通年	2	
ケミカル・バイオハザード学	黒田, 竹内, 伊東, 小川	1	後期	2	
薬学研究のフロンティア	上原, 田中, 他	2	後期	2	
分子細胞生物学	森山, 表	2	前期	3	
癌薬物治療学	有元	1	前期	3	
バイオインフォマティクス入門	中尾	1	前期	3	
薬物治療投与設計序論	黒崎, 川崎	1	後期	3	旧科目名: 薬物投与設計序論
薬剤師倫理学	名倉, 北村, 小山	1	前期	3	
薬学応用実習	各教員	2	後期	3	
漢方処方応用学	谷口, 名倉, 波多野	1	前・集中	3・4	
卒業研究準備実習	各教員	4	通年	4	
医薬品治療学 I	千堂, 松永, 河崎	2	前期	5・6	
医薬品治療学 II	松永	2	前期	5・6	

【創薬科学科】

1. 進級要件

創薬科学科では、2年次から3年次及び3年次から4年次への進級について進級単位を定めている。進級単位を満たしていないと「留年」となるので、注意すること。ただし、履修要件を定めていない科目については、留年しなかった場合の該当年次の開講科目を履修することができる。

第3年次への進級（基礎薬学系実習Ⅰ～Ⅲ，衛生薬学系実習，医療薬学系実習Ⅰ～Ⅲ 履修要件）

2年次末までに、教養教育科目 26 単位以上，専門基礎科目 8 単位以上，専門科目 30 単位（選択科目Ⅰ 30 単位）以上，計 64 単位以上を修得した者とする。

第4年次への進級（卒業論文実習・応用薬学研究演習 履修要件）

3年次末までに、教養教育科目所定の 30 単位以上，専門基礎科目 10 単位以上，専門科目 64 単位（必修科目 9 単位，選択科目Ⅰ 50 単位，選択科目Ⅱ 5 単位）以上，計 104 単位以上を修得した者とする。

2. 修学指導並びに退学勧告について

病気その他やむを得ない事情が無いにもかかわらず、入学後、各年次終了時の全修得単位数が、下表に示す基準に満たない者については、学力・学修態度の改善の為、指導教員による修学指導を行う。

上記指導にもかかわらず、入学後5年経過（休学期間を除く）しても、卒業論文実習の履修資格を得られる見込みのない者については、退学を勧告する。

（平成 18 年度以降入学者の年次別修得単位基準）

Ⅱ 創薬科学科

年次	修得単位
1 年次	30 単位以上
2 年次	上記 1 に示す創薬科学科第 3 年次進級要件単位数
3 年次	上記 1 に示す創薬科学科第 4 年次進級要件単位数

3. 卒業要件

科目区分		単位数		
教養教育科目		30		
専門教育科目	専門基礎科目	10	108	
	専門科目	必修		21
		選択Ⅰ		58
		選択Ⅱ		19
卒業要件単位		138		

4. 卒業認定に必要な教養教育科目単位数

(平成23年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位	
		必修	選択必修			
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2	
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちから3つ以上を選択し、それぞれ1授業科目2単位以上を履修		
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目				
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目				
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目				
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目				
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2		
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学 スポーツ実習(A,B,C,D,E,F)		2単位まで		
	情報科学	情報処理入門(情報機器の操作を含む)		2単位履修することが望ましい		
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)	4		28	
		英語(ネイティブ)	2			
	英語	英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)		2		英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)のうちから選択
		上級英語				
		英語特別演習1				
		英語特別演習2				
	ドイツ語	ドイツ語初級		4		授業科目群から一種類を選択 留学生用 10単位まで
		ドイツ語中級				
	フランス語	フランス語初級				
		フランス語中級				
	中国語	中国語初級				
		中国語中級				
	韓国語	韓国語初級				
		韓国語中級				
ロシア語	ロシア語初級					
	ロシア語中級					
スペイン語	スペイン語初級					
	スペイン語中級					
イタリア語	イタリア語初級					
	イタリア語中級					
日本語	日本語(A, B, C, D)					
計					30	

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成20年度～平成22年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位
		必修	選択必修		
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちから3つ以上を選択し、それぞれ1授業科目2単位以上を履修	
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目			
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目			
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目			
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目			
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2	
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学 スポーツ実習(A,B,C,D,E,F)		2単位まで	
	情報科学	情報処理入門		2単位履修することが望ましい	
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)	4	英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)のうち から選択	28
		英語(ネイティブ)	2		
		英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)	2		
		上級英語			
		英語特別演習1 英語特別演習2			
	ドイツ語	ドイツ語初級	4	授業科目群から 一種類を選択	
		ドイツ語中級			
	フランス語	フランス語初級			
		フランス語中級			
	中国語	中国語初級			
		中国語中級			
	韓国語	韓国語初級			
		韓国語中級			
	ロシア語	ロシア語初級			
ロシア語中級					
スペイン語	スペイン語初級				
	スペイン語中級				
イタリア語	イタリア語初級				
	イタリア語中級				
日本語	日本語(A, B, C, D)		留学生用 10単位まで		
計					30

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成19年度入学者用)

科目区分		授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位		
			必修	選択必修				
ガイダンス科目		薬学ガイダンス	2			2		
主 題 科 目	学問の世界	「学問の世界」グループ科目		6	開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちから3つ以上を選択し、それぞれ1授業科目2単位以上を履修			
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目						
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目						
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目						
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目						
	自然科学	自然科学系科目			※注1 ※注2			
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学 スポーツ実習(A,B,C,D,E,F)			2単位まで			
	情報科学	情報処理入門			2単位履修することが望ましい			
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)	4	2	英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)のうち から選択	28		
		英語(ネイティブ)	2					
		英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)						
		上級英語						
		英語特別演習1 英語特別演習2						
	ドイツ語	ドイツ語初級 ドイツ語中級		4	授業科目群から 一種類を選択			
		フランス語	フランス語初級 フランス語中級					
	中国語		中国語初級 中国語中級					
		韓国語	韓国語初級 韓国語中級					
	ロシア語		ロシア語初級 ロシア語中級					
		スペイン語	スペイン語初級 スペイン語中級					
	イタリア語		イタリア語初級 イタリア語中級					
		日本語	日本語(A, B, C, D)					
	計						30	

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

5. 平成23年度 開講科目(専門教育科目)

I 専門基礎科目

授 業 科 目	教 員	単 位		期 別	配 当 年 次	備 考
		必 修	選 択			
物理化学	井上, 勝		2	前期	1	
有機化学 I	竹内		2	前期	1	
生物化学 I	森山, 根岸, 有元		2	前期	1	
生理学	上原		2	後期	1	
生物化学 II	岡本, 表		2	後期	1	
生物化学 III	森山, 表		2	前期	2	
生物統計学	有元, 黒田		2	前期	2	
専門基礎科目卒業要件単位			10			

II 専門科目

授 業 科 目	教 員	単 位			期 別	配 当 年 次	備 考
		必 修	選 択 I	選 択 II			
無機薬化学	永松		1		前期	1	
薬用植物学	波多野, 谷口		2		前期	1	
薬品物理化学 I	勝		2		後期	1	
有機化学 II	宮地 (弘)		2		後期	1	
生薬学 I	波多野, 谷口		2		後期	1	
微生物学	黒田, 小川		2		後期	1	
創薬科学入門	表, 小川, 他各教員			1	通年	1	
薬品物理化学 II	勝		2		前期	2	
薬品分析学 I	榎本, 御船		2		前期	2	
有機化学 III	竹内, 宮地 (弘)		2		前期	2	
生薬学 II	波多野, 谷口		2		前期	2	
生物化学 IV	岡本, 有元, 高橋, 中尾		2		前期	2	
薬剤学	大河原		2		前期	2	
薬効解析学 I	上原		2		前期	2	
感染症治療学	黒田, 小川		2		前期	2	
人体解剖学	大塚 (愛), 田口, 西田, 百田			2	前期	2	
放射薬品学・放射線概論	三好, 中尾, 大塚 (正), 宮 地 (孝)		2		前期	2	
生物物理化学	井上		2		後期	2	
薬品分析学 II	榎本, 岩藤, 御船		2		後期	2	
生物化学 V	中尾		2		後期	2	
生体防御機能学 I	田中		2		後期	2	
医薬品構造解析学	岩藤		1		後期	2	
製剤学	佐々木		2		後期	2	
薬効解析学 II	上原		2		後期	2	
衛生薬学 I	埴岡		2		後期	2	
有機反応化学	加来田		1		後期	2	
漢方処方学	伊東			1	後期	2	
コンピュータ化学	加来田			2	後期	2	
癌の生物学	有元, 根岸			2	後期	2	

授 業 科 目	教 員	単 位			期別	配当年次	備 考
		必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ			
病理学	荻野			2	後期	2・3	隔年開講：平成23年度～2・3年合同開講
薬品製造工学	武藤			2	後期	2・3	隔年開講：平成23年度～未開講
内分泌化学	中尾，景山，小倉，杉本			2	後期	3	
生体防御機能学Ⅱ	田中		1		前期	3	
生物薬剤学	檜垣		2		前期	3	
薬事法規	合葉		1		後期	3	
薬事行政	御船，岩藤			1	後期	3	
薬効解析学Ⅲ	杉本		2		後期	3	
医薬化学Ⅰ	加来田，宮地（弘），西岡		2		前期	3	
衛生薬学Ⅱ	三好		2		前期	3	
衛生薬学Ⅲ	成松			2	前期	3	
医薬品開発学	合葉		1		前期	3	
薬品分析学Ⅲ	榎本，御船			2	前期	3	
複素環化学	永松		2		前期	3	
機能的天然素材学	伊東		2		前期	3	
衛生薬学Ⅳ	三好			2	後期	3	
ゲノム創薬学	中尾		1		前期	3	
医薬化学Ⅱ	宮地（弘），加来田		2		後期	3	
有機合成反応論	竹内，加来田		2		後期	3	
免疫医薬品学	合田		1		後期	3	
バイオ技術演習	有元		1		後期	3	
国際医療保健学	岡本，高橋 他			2	後期	3	
毒性学	成松			1	後期	3	
基礎薬学系実習Ⅰ	榎本，御船，岩藤，井上，勝	1			前・集中	3	
基礎薬学系実習Ⅱ	宮地（弘），永松，竹内，加来田，西岡，伊東，谷口	2			前・集中	3	
基礎薬学系実習Ⅲ	表，大塚（正）	1			前・集中	3	
医療薬学系実習Ⅰ	田中，合田	1			前・集中	3	
医療薬学系実習Ⅱ	杉本	1			前・集中	3	
衛生薬学系実習	中尾，埴岡，根岸，有元，黒田，高橋，小川	2			後・集中	3	
医療薬学系実習Ⅲ	佐々木，檜垣，大河原，金，佐藤，高山，黒崎，合葉，高取	1			後・集中	3	
薬物治療学Ⅰ	川崎			2	前期	4	
医薬品情報学	金，佐藤			2	前期	4	
臨床医薬品治療学Ⅰ	千堂，松永，河崎			2	前期	4	
細胞療法・診断学	合田			2	前期	4	
薬物治療学Ⅱ	高山			2	前期	4	
薬学国際交流演習	岡本，他			2	通年	4	
応用薬学研究演習	各教員	2			通年	4	
卒業論文実習（卒業制作物を含む。）	各教員	10			通年	4	
専門科目卒業要件単位		21	58	19			

Ⅲ 専門科目（卒業要件外科目）

授 業 科 目	教 員	単 位	期 別	配 当 年 次	備 考
薬学セミナーⅠ	黒田, 他各教員	1	通年	1	
コミュニケーション入門	表, 伊東, 加来田, 他	1	前期	1	旧科目名: コミュニケーション入門Ⅰ・コミュニケーション入門Ⅱ
医薬品開発序論Ⅰ	岡本, 他	1	後期	1	旧科目名: 医薬品開発序論
医薬品開発序論Ⅱ	岡本, 他	1	後期	1	
基礎遺伝学	根岸	2	後期	1	
分子構造化学入門	勝	1	後期	1	
薬学セミナーⅡ	黒田, 他各教員	1	通年	2	
ケミカル・バイオハザード学	黒田, 竹内, 伊東, 小川	1	後期	2	
薬学研究のフロンティア	上原, 田中, 他	2	後期	2	
分子細胞生物学	森山, 表	2	前期	3	
癌薬物治療学	有元	1	前期	3	
バイオインフォマティクス入門	中尾	1	前期	3	
薬物治療投与設計序論	黒崎, 川崎	1	後期	3	
創薬科学英語	黒田, 他	2	後期	3	
卒業論文基礎実習	各教員	2	後期	3	
漢方処方応用学	谷口, 名倉, 波多野	1	前・集中	3・4	
臨床薬学演習Ⅲ	黒崎 (コーディネーター)	1	通年	4	

6. 創薬科学科学生が国家試験受験資格を取得するための指定科目（ 網掛け ）

I 専門基礎科目

授 業 科 目	単 位		配当年次
	必修	選択	
物 理 化 学		2	1
有 機 化 学 I		2	1
生 物 化 学 I		2	1
生 物 理 学		2	1
生 物 化 学 II		2	1
生 物 化 学 III		2	2
生 物 統 計 学		2	2
合 計		14	
卒 業 要 件 単 位		10	

II 専門科目

授業科目	単 位				配当年次
	必修科目	選択科目 I	選択科目 II	薬学科開講科目	
無 機 薬 学		1			1
薬 用 植 物 学		2			1
薬 品 物 理 化 学 I		2			1
有 機 化 学 II		2			1
生 薬 学 I		2			1
微 生 物 学		2			1
医 療 薬 学 入 門					
創 薬 科 学 入 門			1		1
薬 品 物 理 化 学 II		2			2
薬 品 分 析 学 I		2			2
有 機 化 学 III		2			2
生 薬 学 II		2			2
生 物 化 学 IV		2			2
薬 剤 学		2			2
薬 効 解 析 学 I		2			2
感 染 症 治 療 学		2			2
人 体 解 剖 学			2		2
放 射 薬 品 学 ・ 放 射 線 概 論		2			2
生 物 物 理 化 学		2			2
薬 品 分 析 学 II		2			2
生 物 化 学 V		2			2
生 体 防 御 機 能 学 I		2			2
医 薬 品 構 造 解 析 学		1			2
製 剤 学		2			2
薬 効 解 析 学 II		2			2
衛 生 薬 学 I		2			2
有 機 反 応 化 学		1			2
漢 方 処 方 学			1		2
コ ン ピ ュ ー タ 化 学			2		2
癌 の 生 物 学			2		2

授業科目	単位				配当年次
	必修科目	選択科目Ⅰ	選択科目Ⅱ	薬学科開講科目	
病理学			2		2・3
薬品製造工学			2		2・3
内分泌化学			2		3
生体防御機能学Ⅱ		1			3
生物薬剤学		2			3
薬事法規		1			3
薬効解析学Ⅲ		2			3
医薬化学Ⅰ		2			3
衛生薬学Ⅱ		2			3
衛生薬学Ⅲ			2		3
医薬品開発学		1			3
薬品分析学Ⅲ			2		3
複素環化学		2			3
機能性天然素材学		2			3
衛生薬学Ⅳ			2		3
ゲノム創薬学		1			3
医薬化学Ⅱ		2			3
薬事行政			1		3
バイオ技術演習		1			3
国際医療保健学			2		3
毒性学			1		3
免疫医薬品学		1			3
有機合成反応論		2			3
基礎薬学系実習Ⅰ	1				3
基礎薬学系実習Ⅱ	2				3
基礎薬学系実習Ⅲ	1				3
医療薬学系実習Ⅰ	1				3
医療薬学系実習Ⅱ	1				3
衛生薬学系実習	2				3
医療薬学系実習Ⅲ	1				3
薬物治療学Ⅰ			2		4
医薬品情報学			2		4
臨床医薬品治療学Ⅰ			2		4
細胞療法・診断学			2		4
調剤学				2	薬学科4年次
コミュニティファーマシー				1	薬学科4年次
薬物動態学				2	薬学科4年次
臨床病態学Ⅰ				2	薬学科4年次
総合薬学演習Ⅰ					
有機化学演習Ⅰ					
実務実習事前教育1					
実務実習事前教育2					
実務実習事前教育3					
実務実習事前教育4					
実務実習事前教育5					
薬学国際交流演習			2		4
薬物治療学Ⅱ			2		4
応用薬学研究演習	2				4

授業科目	単位				配当年次
	必修科目	選択科目Ⅰ	選択科目Ⅱ	薬学科開講科目	
病院薬学				2	薬学科4年次
臨床医薬品治療学Ⅱ				2	薬学科4年次
臨床薬学				2	薬学科4年次
診断治療学				2	薬学科4年次
臨床薬物動態学				2	薬学科4年次
臨床病態学Ⅱ				2	薬学科4年次
総合薬学演習Ⅱ					
病院実務実習					
薬局実務実習					
臨床薬学演習Ⅰ					
臨床薬学演習Ⅱ					
臨床薬学演習Ⅲ					
臨床薬学演習Ⅳ					
卒業論文実習(卒業制作物を含む。)	10				4
総合薬学演習A					
有機化学演習Ⅱ					
総合薬学演習B					
合計	21	67	36		
卒業要件単位	21	58	19		

指定科目(76単位)(39科目)*

*創薬科学科では開講されていない単位(科目)19単位(10科目)を含む

注 薬学科開講科目については、4年次に1セメスターに2科目まで履修を認める。

7. 専修コースおよび博士後期課程特別聴講コース（4 + 2 + 2 システム）の概要

年次		規 定		推 奨		備 考	薬学科との対応
		科目数、単位数		科目数、単位数			
3年次まで		25科目、49単位 (4年次までの最低条件)		24科目、47単位		全て選択I、II。 これらの取得は前提としたい。	
4年次		※但し、本学卒業後、他大学大学院へ進学した者は、29科目、57単位取得が必須となる。		5科目、10単位			
M1	前期	4科目、8単位 (博士前期課程の2年間で取得できる最高の単位数)		2科目、4単位			薬学科 4年次配当科目
	後期			1科目、2単位		診断治療学	
M2	前期			1科目、2単位			
	後期			0科目、0単位		修論準備等のため、履修は推奨しない。	
専修1年次	博士後期課程1年次	前期	2 - 10科目、 4 - 19単位	6科目、11単位	ここで、指定科目全ての単位取得。 (39科目、76単位)	薬学科 4年次後期開講	
	後期	実務実習事前教育 1~5 計 8 単位	実務実習事前教育 1~5 計 8 単位	OSCE, CBT受験			
専修2年次	博士後期課程2年次		病院実務実習 10単位 薬局実務実習 10単位	病院・薬局実務実習 計 20単位	国家試験受験資格の申請 (実務実習の実施時期により3年次となる場合あり)	薬学科 5年次 実務実習 6年次 国家試験	

尚、専修コース（博士後期課程特別聴講コース）においては、1年次に、総合薬学演習Ⅰ、Ⅱ、および有機化学演習（薬学科4年次配当）を、2年次に、総合薬学演習A, B および有機化学演習Ⅱ（薬学科6年次配当）を、また1、2年次を通じて、臨床薬学演習Ⅰ～Ⅳ（薬学科5, 6年次配当）を履修可とするが、必要要件とはしない。

※他大学大学院に進学した場合、博士前期課程在学中に取得すべき4科目8単位の履修が不可能となるから。

5 放送大学との単位互換の実施に関する内規

平成21年5月27日制定

平成21年9月17日改正

薬学部教授会

(趣旨)

第1条 この内規は、岡山大学薬学部規程（平成16年岡大薬規程第1号。以下「学部規程」という。）第12条の規定による放送大学との単位互換の実施に関し必要な事項を定める。

(授業科目の公示)

第2条 学生が履修可能な放送大学の授業科目は、薬学部教務部会により、前年度の12月に公示する。

(授業科目の履修)

第3条 学生が放送大学の授業科目を履修する場合は、所定の期日までに特別聴講学生出願票を提出しなければならない。

(特別聴講)

第4条 放送大学の特別聴講学生として授業科目の履修を希望する学生の出願(科目登録),履修,単位修得等については、放送大学の定めるところによる。

2 前項の規定により、授業科目の履修を希望する学生は、放送大学に、特別聴講学生の授業料として、1単位につき、所定の額を納入しなければならない。

(単位の認定)

第5条 放送大学の特別聴講学生として修得した単位の認定は、学部規程第12条第3項及び第4項の規定に基づき、別表第1に定める科目区分に応じて、卒業要件単位として認定する。ただし、この場合30単位を超えないものとする。

2 前項の規定により、単位を認定された授業科目の成績評価の表示は、「認定」とする。また、科目名の前に「(放)」を表示し、他の修得科目と区別する。

附 則

この内規は、平成21年10月1日から施行する。

別表第1 単位認定の科目区分等（第5条関係）

平成20年度以降入学者適用			
薬学部の科目区分等			放送大学の授業科目等
教養教育科目	主題科目	現代の課題 人間と社会 健やかに生きる 自然と技術	主題科目
	個別科目	人文・社会科学	基礎科目 共通科目の一般科目（人文系） 共通科目の一般科目（社会系）
		自然科学	基礎科目 共通科目の一般科目（自然系）
		生命・保健科学	基礎科目の「運動と健康」
	外国語科目	英語 （英語（薬学部1）、英語 （薬学部2）及び英語（ネ イティブ）を除く。）	外国語科目
英語以外の外国語		英語以外の外国語	
専門教育科目	専門基礎科目	薬学部教務部会が履修を認めた自然科学系科目	

平成18年度～平成19年度入学者適用			
薬学部の科目区分等			放送大学の授業科目等
教養教育科目	主題科目	学問の世界 人間と社会 健やかに生きる 自然と技術	主題科目
	個別科目	人文・社会科学	基礎科目 共通科目の一般科目（人文系） 共通科目の一般科目（社会系）
		自然科学	基礎科目 共通科目の一般科目（自然系）
		生命・保健科学	基礎科目の「運動と健康」
	外国語科目	英語 （英語（薬学部1）、英語 （薬学部2）及び英語（ネ イティブ）を除く。）	外国語科目
英語以外の外国語		英語以外の外国語	
専門教育科目	専門基礎科目	薬学部教務部会が履修を認めた自然科学系科目	

平成16年度～平成17年度入学者適用			
薬学部の科目区分等			放送大学の授業科目等
教養教育科目	主題科目	知の構造 自己と他者 文化と制度 いのち 国際化時代への展望 自然との共生	主題科目
	個別科目	人文科学	基礎科目，共通科目の一般科目（人文系）
		社会科学	基礎科目，共通科目の一般科目（社会系）
		自然科学	基礎科目，共通科目の一般科目（自然系）
	主題科目	いのち	基礎科目の「運動と健康」
外国語科目	英語 （英語（薬学部1）、英語 （薬学部2）及び英語（ネ イティブ）を除く。）	外国語科目	英語
	英語以外の外国語		英語以外の外国語
専門教育科目	専門基礎科目	薬学部教務部会が履修を認めた自然科学系科目	